

授業科目名	国語科教育法 (2100263)		
時間割名	国語科教育法 (41108)		
時間割担当	正木友則		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・1		

授業の目標・概要

国語科教育法 で学んだことを踏まえ、学習指導要領の確実な理解に基づき、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の指導について、現状と課題の把握、言語活動を通じた指導の充実など指導の改善方を学ぶとともに、実際に指導計画の作成や授業研究を踏まえて、指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。言語能力を育成するための指導と評価の在り方について考える。授業は、ペアやグループなどによる活動を重視する。

学習の到達目標

- ・中・高等学校の国語科教員として授業を担当するために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について実践的な指導力を身に付ける。
- ・学習指導要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践力を身に付ける。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

授業計画

- 第1回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(1)
「話すこと・聞くこと」の指導の現状と課題を把握し、学習指導要領の理解を深め、指導と評価を改善するための方向性と、その具体的な方策について学ぶ。
- 第2回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(2)
「話すこと・聞くこと」の指導と評価の計画の作成について学び、実際に計画を作成する。
- 第3回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(3)
「話すこと・聞くこと」について模擬授業を行い、指導の工夫と学習評価について考える。
- 第4回 「書くこと」の学習指導(1)
「書くこと」の指導の現状と課題を把握し、学習指導要領の理解を深め、指導と評価を改善するための方向性と、その具体的な方策について学ぶ。
- 第5回 「書くこと」の学習指導(2)
「書くこと」の指導と評価の計画の作成について学び、実際に計画を作成する。
- 第6回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(3)
「書くこと」について模擬授業を行い、指導の工夫と学習評価について考える。
- 第7回 「読むこと」の学習指導(1) 近代以降の文章
「読むこと」の指導の現状と課題を把握し、学習指導要領の理解を深め、指導と評価を改善するための方向性と、その具体的な方策について学ぶ。
- 第8回 「読むこと」の学習指導(2) 近代以降の文章
「読むこと」の指導と評価の計画の作成について学び、実際に計画を作成する。
- 第9回 「読むこと」の学習指導(3) 近代以降の文章
「読むこと」のについて模擬授業を行い、指導の工夫と学習評価について考える。
- 第10回 「読むこと」の学習指導(4) 古典
「読むこと」の指導の現状と課題を把握し、学習指導要領の理解を深め、指導と評価を改善するための方向性と、その具体的な方策について学ぶ。

成績評価の基準

【授業計画続き】

- 第11回 「読むこと」の学習指導(5) 古典
「読むこと」の指導と評価の計画の作成について学び、実際に計画を作成する。
- 第12回 「読むこと」の学習指導(6) 古典
「読むこと」について実際に授業を行い、指導の工夫と学習評価について考える。
- 第13回 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業デザイン
育成すべき能力を確実に身に付けさせるための「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業デザインについて考える。
- 第14回 「読むこと」の授業デザイン
育成すべき能力を確実に身に付けさせるための「読むこと」の授業デザインについて考える。
- 第15回 授業の総括として、これまで身に付けたことについて振り返る。

【成績評価の基準】

授業中に行う活動や小レポート評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する(30%)。課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する(30%)。学期末においては総合的な理解を確認する(40%)。

準備学習・復習及び授

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。学習指導要領の指導内容を確認し、学習指導案作成の際に活用する。

履修上のアドバイス及

- ・受講上の基本的なマナーを守ること
- ・対話的に授業を進めるため、授業への積極的な参加を求める。
- ・授業時間内での理解を深めるために、予習と復習を欠かさないこと。

教材・教科書

吉川芳則 [編著] 『アクティブ・ラーニングを位置づけた中学校国語科の授業プラン』(2016年、明治図書)

参考書

特になし 必要に応じて授業で紹介する。